

# ひろば大代

NO.331

大代公民館

H19.2.23

卒業式までの残り少ない学生生活の中で、友達とたくさんの思い出を作りたいと思います。

## ||祝成人|| 大人の仲間入り



本郷

日向光

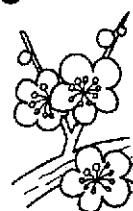
私も大人の仲間入りなんだと感じながら、一月四日に市民会館で行われた成人式に参加しました。

今年は短期大学を卒業し、社会に出て働きます。今までいろいろな人を頼つていて、自分で考え行動するという事が少なかつたような気がします。

ですが今年は、一つでも多くの事を学び、いろいろな人から頼りにされるような人になりたいと思います。また、自分の行動にも責任をとり、一つ一つの事を丁寧に取り組みたいと思います。

## 成人の日を迎えての喜び

椿 檜原 咲子



やつと二十歳になつたことを待つていた喜びの気持ちと、これから責任ある行動をとつていかなければならぬ重荷のような、複雑な心があります。

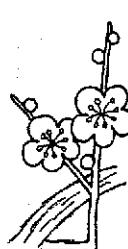
高校を卒業して、社会人となり、今年成人の日を迎える、大きな節目をいたしました。

今まで両親をはじめ、沢山の方々に甘え、頼ってきた私ですが、これからは少しでも人の気持ちを考え、人に迷惑をかけないような社会人にならなくてはと、改めて決意いたします。

健康に気をつけて、喜んで仕事を頑張りたいと思います。

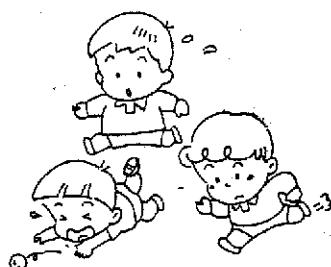
## 亥年を迎えて

平 高村 賢藏



## 我が家三兄弟

下市 三崎洋介



大阪から大代町に来て三回目の冬、知らない土地に来て仕事・子育て等にあわただしく過ごしていく、ふと気付いてみれば私も三回目の年男を迎えていました。

年賀はがきは、すべて猪の絵であり僕がふきのとうを見つけて食べさせてくれますが、今年は暖冬なので、いつもより早い一月十日頃に食べる事が出来ました。

「珍しい物を食べたら長生きをする」と昔の人が言っています。

健康に気をつけ、過ごしたいと思いまので、宜しくお願ひします。

子供の成長は日々気付く事が有つて、自分の事には全く気付かず（あります）、カレンダーを見て改めて自分年の年齢を実感しています。

さて現在我が家には三人の子供がいます。幸か不幸か全員男の子（妻とは三崎家の『たまきんトリオ』と呼んでいます）なので中々手ごわい連中です。

こちらに来た時は歩き出して間もなかつた長男はもう直ぐ四歳になります。その長男が流暢（？）な大田弁で話しているのを聞くと、着実に大代っ子として成長しているのを実感します。仮面ライダーのベルトを着けてお母さんやお婆ちゃんにライダークリックをしては怒られています。元気なのはいいのですが…。

大阪で妻のお腹に入り、こつちで生まれた大阪と大代のハーフ（？）の二歳の次男。自分がまだまだ小さいのに気付かず長男と同じ事をしようとして失敗してしまつちゅう何処かに怪我をしています。

走り回るのが好きで、そのせいで直ぐに靴の爪先に穴が開いてしまうのが頭の痛いところです。

もう直ぐ一歳（この広報誌が出る頃にはもう一歳になつていて）になる三男は三崎家初の百分百代産です。兎に角二人の兄弟の仲間に入りたらしくハイハイで兄達の許へ行つてはその兄達に邪魔者扱いされています。

もう直ぐ新居が完成しますが、いつまでこの三兄弟の手からキレイな状態を守れる事やら…、今から妻が大きな声で怒つている声がきこえます。

最後になりましたが三崎家の『たまきんトリオ』を今後共宜しくお願ひいたします。

の事と思つていましたのにもう来てしまいました。

三十六歳の時、年男と言う事で、公民館便りに書かせて頂きました。あれから二十四年早いもんですね。

今までを、振り返つて見ると此れで良かつたのかと、つくづく思います。最近のニュースを見ましても環境問題、少子化問題、地球温暖化問題、日本は何時まで持つのか、人類は、地球はと、思ひに駆られます。

私の子供が五十年先に果たして今の環境のままを保てるのか、今、子供、孫、子孫の為に何をしなければいけないかと真剣に考える時が来ていると思います。

団塊の世代の定年が話題になつていますが、自分で商売をしていますと定年が有りません。おそらく動ける間は働くと思います。

今も商品開発に追われています。これがまた大変ですが、作った商品が売れた時は最高の気分です。

六十歳から第二の人生、六十歳に成らないと出来ない事、分からぬ事、沢山有ると思う、これから第二の青春



## 六十歳を迎えて

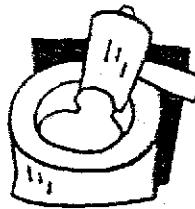
下谷自治会 筍田都三

を謳歌したいと思います。

人生の三分の一を過ぎ、後の三分の一を悔いの無い人生を送りたいと思っています。

## 降雪ないめずらしい年

### 確かな農産物づくりを



高山の里直売所運営組合

組合長 横手 新治郎

皆様のご協力により直売所も丸2年半、順調とは言えないかもしれません。が継続できた事を喜びたいと思います。今年はいよいよ正念場の運営となると思ひますので、一層のご強力をお願ひ申し上げます。

これまでの状況と今年度の運営につきまして、ご報告と協議をする総会を2月26日午後1時30分から公民館で開催致しますのでご出席いただきますようご案内を致します。

なお総会に併せて、直売所では県下でも有数の成果を上げておられる邑南町の「雲井の里」からおいで頂き、お

話しを伺うことに致しておりますのでお誘い合わせ多数ご聴講頂きますようお願い致します。

2月と言うのに積雪が全くない年が（16日現在）、今までにあつたでしょうか。「こんな年もめずらしい」と挨拶がわりになっています。冬型の気圧配置になつても、弱く長続きしません。このままなら観測史上、最小雪の可能性もあるかと思われます。気象庁の発表によりますと、12月も小雪だつたが、1月はさらに少なかつたようです。

降雪の深さは（月合計）青森、仙台、金沢、福井などで最小値、北陸地方の降雪量は平年のわずか3%、1972年の最少記録の15%を更新したとのこと。

山に雪がないと春以降の水不足が心配です。日本の稻は雪が溶けた水で育つています。ことわざに「雪少ない年は干害あり」、雪の少ない年は夏の雨もない傾向があると言います。

また過去のデーターが、どれほどの意味があるのか分かりませんが、大正10年には関東大震災、昭和34年の伊勢湾台風、平成7年の阪神淡路大震災は、

いずれも「亥年」で、その間隔はいずれも36年で、干支の3巡目だとのことです。

今年は米がまともに出来るのだろうか。野菜は充分食べるほど育つだろうかと心配です。

初心に帰つて、米や野菜づくりに挑戦しなければ、大変な事になるかもしません。

直売所は、地産地消運動から生まれた施設ですからこのような時こそ、しつかりと運営をする事が大切な事ではないかと感じている今日この頃です。

3月4日には、初売りイベントとして、よもぎ餅の揚きたてを販売します。もちろん杵で搗きますので、ねばりも良く、よもぎの香り高いおいしい餅を味わってください。

## ||俳句||

あすなる句会

大田 原田萬里

寒行の托鉢僧は素足なり  
春時雨岸辺の草も零して

柿田 横手いちえ

音もなく山野息づく春時雨  
野良猫のふり返りたる犬ふぐり

